

# 新潟県

# 公民館月報



昭和50年1月号

発行所 新潟県公民館連合会

【新潟市一番堀通町・県教育庁社会教育課分室内】

【電話・(新潟)28-6111内線326】【振替新潟4094】

発行人 会長 石井一耕

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部40円千・年徳480円】

## はさ木

光がさしはじめたときは  
やがて

その光の没するときのはじまり

か  
青々とした広い蒲原平野にやわ

らかな日があたり

芽吹いたはんの木やたも木の影

が田の水面に遊んでいた春

そして

はさぶすまにいっばいの目を抱

いて豊かな稔りの輝いていた

秋

幾代も幾代も はさのある生活

の風景があった

一九七五年

わずかにとり残された平野のは

さ木に一月の光があたる

(本)

(写真は亀田郷にて・本紙)

# 公民館施設補助44億に前進

## 一館平均一、六〇〇万円

### 単価は増、対象館数は減る

昭和五十年年度の公民館施設費国庫補助増額運動は、いわゆる総需要抑制政策を貫こうとする国の厳しい予算編成方針と対決し、かってない緊迫した空気の中で実施された。さる一月五日から政府原案決定に至るまでの五日間、全公連と公民

館振興市町村長連盟の総力を結集した運動の結果、総額四十四億円を獲得した。これは前年度の三十五億四千万円に対し二四・三パーセントの伸びとなり、困難な情勢の中で一応の成果を上げたとはいえる。

この予算増額運動の趣旨は、昭本年九月下旬に各都道府県で和五〇年度公民館建築費補助三二と一実施して第一期運動の成果を概七千五百万円を獲得するため、ふまへ、大蔵省原案内示の時期が

ら政府原案の決定まで、全国一律、多分七割にも達せや、とく態勢により第一期(最終)の増額を確保し、第二期の増額を確保し、要求の実現をはかる」といふもので、公民館振興市町村長連盟とタイアップ、新年早々の五日から東京赤坂の都市センターを拠点として実施された。

この予算増額運動は総需要抑制という経済危機感が支配し、例年見られた他機関団体等の派手な陳情運動も、福祉、教育(私学)助成など二部上げ朝ムードの一部会等ポイントを定めて渡状的な群衆のそま金懸に字幕やステッカー等によるアピール作戦も見られず自粛ムードが感じられた。

しかし、長年積み上げてきた公民館建築費増額運動の趣旨と実情をいり社会教育局長、文部事務次

官折衝の結果四十四億が決定された。これは一館平均補助単価二千六百万円、二七五館分に当り、対前年比八億六千万円、二四・三パーセント増となる。一方、補助館数が二〇館分減じられたことは本県のように建築希望が増加しつつあるところにとっては問題。しかし、全公連が長年要求を繰り返してきた定率補助を勝ちとるために、一時的に補助館数を犠牲にして、総額と単価のアップを優先してもらうという主張の一の道をとり、それをえなかつたものといえる。

その他、主なる要係予算は次のとおり。派遣社教主事一十億五千万円。社会教育員五億七千二百万円。それぞれ若干の単価アップ。



〔永井新文相(中央)に職員表彰のお礼と補助予算増額を要請する全公連正副会長と事務局長〕



〔上〕〔都市センター内運動本部で毎朝、行動日程を打ち合わせ。中央は張り切れる田村全公連会長〕

〔下〕〔西岡文教部会長(中央左)同森副部会長(同右)を囲み熱心に陳情する一行〕

### 生活の充実感

「毎日くらししている中で、君たちが満足感が充実感を持つてるとや、あるいは生活の目標としてしているようなことは何ですか。」

四十人程集まった若者たち前後の青年たちをきいてみた。誰も答える者はない。だいたいだつてもあやうく二人が答えてくれた。その一人は和裁をしている女子で「ひと針ひと針縫って最後に着物が仕立て上がった時は、本当に喜びを感じる」という。他の一人は男子で「この生活の目標はリンスーンに行つてみることだ。そのため貯蓄もしてゐる。」という。その他の諸君が



小泉館長



徳間事務長

## 初の文部大臣賞

小泉(新潟) 徳間(柏崎)の両氏に

社会教育法制定二十五周年を記念して、文部省から地域の公民館活動に功績のあった公民館職員に対し文部大臣賞が贈られた。

本県からは新潟市中央公民館長小泉幸作氏(49)(本会理事)と柏崎市中央公民館事務長徳間助夫氏(49)(本紙編集委員)二名が選ばれ、さる十二月十一日東京葵会館芙蓉の間で行なわれた表彰式に参加した。大臣賞は新任早々の民間人文相永井道雄氏から直接手渡され、受賞者は感激したという。公民館職員に対してこのような大臣賞が贈られたことははじめてのことである。

### 誰が説教できるか

「仕事を手放さずして、そこに生きがいを見出し、きたおとなたちが個性の生活です。仕事をすればいいわけでもない。たゞしは無理もない。今の青年たちの立場には、生きがいを持つていく要素がたゞあるのだ。ある青年は「毎日個性の生活です。仕事をすればいいわけでもない。たゞしは無理もない。今の青年たちの立場には、生きがいを持つていく要素がたゞあるのだ。ある青年は「毎日個性の生活です。仕事をすればいいわけでもない。たゞしは無理もない。今の青年たちの立場には、生きがいを持つていく要素がたゞあるのだ。」

## 青年よどこへ行く

北原 克 二

「この大青年たちははげしく極のよきな自分です。」と。また、趣味活動に打ち込んだり、友人や仲間といる時などある調査報告している。さりとて今の青年は仕事をなまけうとしてゐるわけでもない。仕事は仕事、趣味は趣味と割り切っている者が多いようだ。

青年教育は「青年自身が何かをしたい」という求めるよきなものの上に成立する。「と等者はいう。かつての青年教育は企業も体制が強制的に与えるという発想に立つた場合が多く、そして青年たちがラッポをむかされたという反省もある。やる気のないことをいふおしつけてもダメだ。青年教育の視野を広げようとするならば、仲間活動をすすめる。スポーツをはじめ趣味活動をすすめる。」

### 二者択一ではない

「青年が今の生活の中で、いさば方向にはなかるるか。青年時代に、すきなこと、打込むのを、つ、その結果いい友を得たり、いい趣味が身につけば一生の宝を得たものなのだ。」

### 充実した生活

戦前には趣味はひまの道楽だった。ところがこれからは「趣味に生きる」ことが人生の目的だという方向に近くなつてきた。」といわれた。まは経済成長が頭打ちになり、インフレと不況にあえぐ現在では、國民は精神的に生きがいのある豊かな生活を求めているといわれている。資本に頼られて暮らす「レジャー」の時代は終つた。青年たちは「ライブ」や「モデル」利用などはかりに目をむける感がある。それらなくしてはならない。

青年たちが気軽に集まれる場を用意すること。団体活動をすすめること。そして彼等がやりたいこと、求めているものを察知して、いろいろの面で援助してやるという方向で、事業を計画していくこと。こうしてこそ公民館では、真に考えていくべきはなかる仲間活動をすすめる。スポーツをはじめ趣味活動をすすめる。」

### 資料をください

公民館で作成した資料や文芸作品集または館報などをご返送くださいませんか。本紙を通じて県内の皆さんへも紹介してまいりたいと思ひます。

—編集部—

(長岡市社会教育指導課)

→ **ホクギン** 総合口座は全店でお出し入れいただけます!



お払い出しは、キャッシュ・ディスペンサーもOK!

100万人の銀行







# 公民館に

## 私の着物

天児淑子



華やかなりし頃、角にどこか、みたよきな一人の女性が、裸におちか姿で、ふらふらと歩いていった。周囲の人たちは、あえてこの女を眺めていた。様子も見えない

か、という、そればかりの多岐にわたる。最近私は「道伝等」の話を聞いて、非常に参考になった。調せられた任務である。即ち、幼児から老人に至る。いわく私たちは、時には、流れているゆる生涯教育の必要性も理解出来た。社会に対して、ママのシャカ、という、そればかりの多岐にわたる。最近私は「道伝等」の話を聞いて、非常に参考になった。調せられた任務である。即ち、幼児から老人に至る。いわく私たちは、時には、流れているゆる生涯教育の必要性も理解出来た。社会に対して、ママのシャカ、という、そればかりの多岐にわたる。

欲望と麗装を着て行進をした王様に纏い合せて一枚の着物をつくれば、それに似る家来たち、そして三様の心をくすぐる織職人等、この物語に登場する人物は、みんな今日生きている人々の姿であり、私自身の中にも集まっているものである。「私」は、はじめ、自分の着物をつくらなければならないというのに気がついた。どんなに美しい言葉で装ってみても、人間であるかぎりの消すことのできない我執をもちながら、だかもし、よりよく生きようとする人としての努力を続けているか、という思いがある。姿を「私」ばならぬことに気づいたのである。

私は、その努力の一つずつを、

（新潟市中央公民館）



## 見落しはないか

五十嵐 二郎

来た。

しかし、「道伝」ということで、自分自身を見直して、自分自身を再教育しなければならない年だ。考えた。

（吉川町社会教育専事）

私にとって、「社会教育」という世界に入り、二十一年の成人式を迎え、念をこめて意義深い。こうしていつか自分では一人前になった気がしていたが、恥かたながら、これからの社会教育を……と問われると、トンと頭が痛む。

「現代社会」は、一向にその考えなどはず、まのまの平素もあれこれ考えているのだが、それはただ「一体何をしたらいいのか」「どこか自新し、いかに自分なにか」といった「暗黒模索型」になってしまっている。

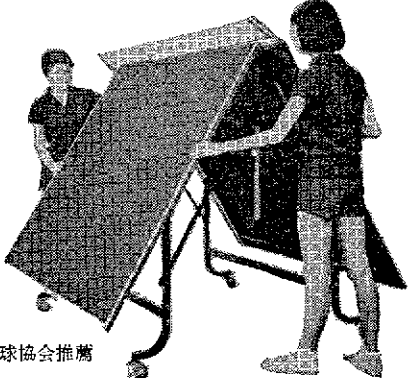
職務柄、自分で立案し、実行して行くには、それなりに事前研究も、予備知識をもち出して、究め、正直なところ受け売り、必要性をいかに多くの人々にわ

目的、時には、一歩後退して、自分自身を見直して、自分自身を再教育しなければならない年だ。考えた。

（吉川町社会教育専事）

### この抜群の機能性にご注目!!

# デリカ卓球台



- 準備は5秒 移動もカンタン
  - キャスター(車輪)可動式
  - 丈夫なコートと組立式ネット・サポート
  - 折りたたんだら、つい立てにも
  - 公民館等 多目的に使用する場所に是非御使用下さい。
- 〈その他デリカテーブル、デリカステージもご用命下さい〉



**新潟県 川口産業株式会社**  
 新潟市卸新町1丁目  
 お問合せ お申し込みは 電話(0252)73-0121  
 ●ご希望により、詳しい資料をお送り致します。

日本卓球協会推薦



# 公民館に

## 施設充実をよろこぶ

丸山 星雄

昭和二十九区に二館を設置し、旧役場や学校年、糸魚川市制に館を併置し兼任館長一名兼任糸魚川市内十力、主事一名という形で一応充足し所の旧公民館をた。しかし、こんな形では到底大一つにして糸魚川効果は期待できない。



川公民館として、今井地区は中学校の統合と共に中継所は中学校の寄附舎として移ね、上司関係者の御理解と指導を得て、昭和四十七年十月現在の新しい今井公民館が落成した。地区住民の喜びは最高で、以来この館の果たす役割は非常に大きく、各種団体の集會、行事、組織活動は

俄然活性化し、生きかえった喜びである。さて、この立派な施設を根拠として、各種団体の組織活動を推進しそれぞれの持味を生かし、地区全体が有機的に理解を深めて発展したいものである。今井地区には社会教育に関係する次の諸団体がある。

- ◎ 今井消防団 六〇人
- ◎ 今井小 P・T・A 六〇人
- ◎ 今井青少年協 外三グループ
- ◎ 今井青年会 六〇人
- ◎ 今井老人クラブ 二〇人
- ◎ 農協婦人部 二〇人
- ◎ 交通安全協会 八〇人
- ◎ 青年ひまわり会 三〇人
- ◎ 今井老人クラブ 二〇人

## 社会教育の飛躍

社会教育法が生まれ、もう四半世紀にもなるのに立派な法体系の形がまだ未だ住民個々には浸透してない。と、ここへ、一年社会教育行政に携わって来て、指導者を提供するべく努力する必要がある。少なくとも小学校区単位に公民館を建て図書館、資料館はもとより小さな体育館に運動広場も兼ね備えたい。指導者は住民の中からそれそれの課題に応じた専門家を拓してゆきたい。

## 因果はめぐる

加藤 久泰



い。わが国でも最近から燃える水として期待に歌したは、一三〇〇年も前と伝えられている。人知はこの泉水(くさず)を滅多に無罪に分解して、衣食住すべての面に活用するに至った。

油の一滴血の一滴と唱えられた言葉がふと口から出た。十四年は油の一滴が物価をあげて、庶民生活は右往左往を繰り返して、その後遺症は続いている。人間と石油のかかわりあいは遠くゆるる産業と生活の結びつきを

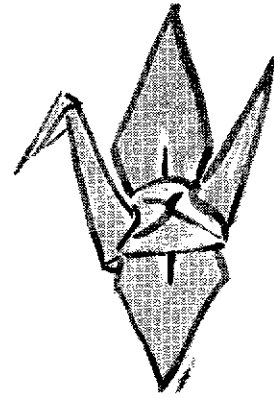
からどうにもならない。無駄をなくする運動が中学の生徒会からも聞かれる昨今である。消費は美德の売り込みで踊り、買ひ込み、使わず捨てる見え方が出たかと思うと、一変して、籠城組が、ちり紙、砂糖、塩の買い溜めに東奔西奔し、ぼろ市に殺到する一時期があった。その要政府も朝令暮改の行政で、あれを養えたり、これを替えたり。

公民館は世論の渦の中に立つて毅然として、彼等に向って棒さしているかと思つて見る。その力の乏しさを否定できない。しかし前項述べた大衆の動きを



社会教育の場である。公民館は個人全グループが生活課題、地域課題に取り組み学習意欲を喚起させることであるからには、住民がもっと身近に感じ親しみをもてるものでなくてはならない。それには特に必要とする住民要求に即した施設、指導者を提供するべく努力する必要がある。少なくとも小学校区単位に公民館を建て図書館、資料館はもとより小さな体育館に運動広場も兼ね備えたい。指導者は住民の中からそれそれの課題に応じた専門家を拓してゆきたい。

新春随想



VTRの活用

遠藤 克己

かつて、高度成長の時代、週もしゃくしゃくカネを求めて仕事にか...

出、私達の公民館も好む向きも... 今年度は、実務的な学習活動で人...

昭和50年も生活水準は向上す... 人間性は違う。

いつも社会教育の重要性が... 忘れていなければならないか...

家庭会話運動

安達 孝夫

家庭の中で、テレビの普及等々... 会話の時間がある。

気楽な公民館

佐藤 幸日子

今年度の学習活動で人を... つかせを作ろうと考えています。

地域社会研究会(代表石川等... 『地域社会』が創刊

実践研究誌... 申込宛、水原町中

あとがき... 新春特集号のために、上・中・下